大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	工業英語 II		
科目基礎情報							
科目番号	30M533		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	日本工業英語協会, 「工業英検3級問題集」, 日本能率協会マネッジメント						
担当教員	伊東 徳						
到達目標							
(1) 科学記事によく使われる語や最新の用語などに慣れる。(定期試験) (2) 科学記事の特徴を捉える。(定期試験) (3) 海外放送ニュースの利用方法、その利点などを学ぶ。(定期試験とレポート)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目 1	科学記事によく使われる語や最新の用語などが深く理解できる。	科学記事によく使われる語や最新の用語などが理解できる。	科学記事によく使われる語や最新の用語などが理解できない。				
評価項目 2	科学記事の特徴を捉えて他者に説明することができる。	科学記事の特徴を捉えることができる。	科学記事の特徴を捉えることができない。				
評価項目 3	海外放送ニュースの利用方法、その利点などが深く理解できる。	海外放送ニュースの利用方法、その利点などが理解できる。	海外放送ニュースの利用方法、その利点などが理解できない。				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (C2) JABEE 1(2)(f)							
教育方法等							
概要	前期の資格英語 I で用いた工業英語問題集とテキストを継続使用し、事実を誤りなく相手に伝えるための簡潔で的確な英語表現法について学習していく。これはニュース記事とも共通しており、海外放送局のニュースに触れて読む力を養う。						
授業の進め方・方法	講義と課題 達成目標の(1)~(3)について、2回の定期試験(計90点)と2回のレポート評価(計10点)の合計で評価する。総合評価が60点以上を合格とする。						
注意点	講義中に分からなければその場で分かるまで粘り強く質問すること。 Excelに重要単語や熟語、メモなどを打ち込み、自分に合った専用の辞書を作り、卒業後も使えるようにする。 再試験はレポートを全て提出した者のみ行う。						
評価							
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	覚えておきたい英語表現方法	リスニングやスピーキングにも語彙力がないと理解力を下げてしまう。最小語数で最大効果を生み出そうとする簡潔な表現法などを学ぶ。			
		2週	重要な語句を整理する	リスニングやスピーキングにも語彙力がないと理解力を下げてしまう。最小語数で最大効果を生み出そうとする簡潔な表現法などを学ぶ。			
		3週	海外ニュース記事	海外からの技術者と仕事で接触する中で、習慣や文化の違いから起きる素朴な疑問に対して英語で説明する。			
		4週	関連の重要な語句	海外からの技術者と仕事で接触する中で、習慣や文化の違いから起きる素朴な疑問に対して英語で説明する。			
		5週	まとめ	海外からの技術者と仕事で接触する中で、習慣や文化の違いから起きる素朴な疑問に対して英語で説明する。			
		6週	まとめ	海外からの技術者と仕事で接触する中で、習慣や文化の違いから起きる素朴な疑問に対して英語で説明する。			
		7週	まとめ	海外からの技術者と仕事で接触する中で、習慣や文化の違いから起きる素朴な疑問に対して英語で説明する。			
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	後期中間試験の解答と解説				
		10週	海外放送ニュースを読む 政府関係の広報	海外ニュースのトピック記事に触れ、表現方法を学ぶ。			
		11週	科学専門誌の記事	自動車エンジン、光の性質などの科学記事を読む。公共性や公益性に関わる語を多用し、一般的な項目から詳細な書き方になっている構造に着目する。			
		12週	語句を並べ替えて英文を作成する	自動車エンジン、光の性質などの科学記事を読む。公共性や公益性に関わる語を多用し、一般的な項目から詳細な書き方になっている構造に着目する。			
		13週	まとめ	補足的な説明を加えて授業のまとめをする。			
		14週	まとめ	補足的な説明を加えて授業のまとめをする。			
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
專門的能力	90	0	0	0	0	10	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0